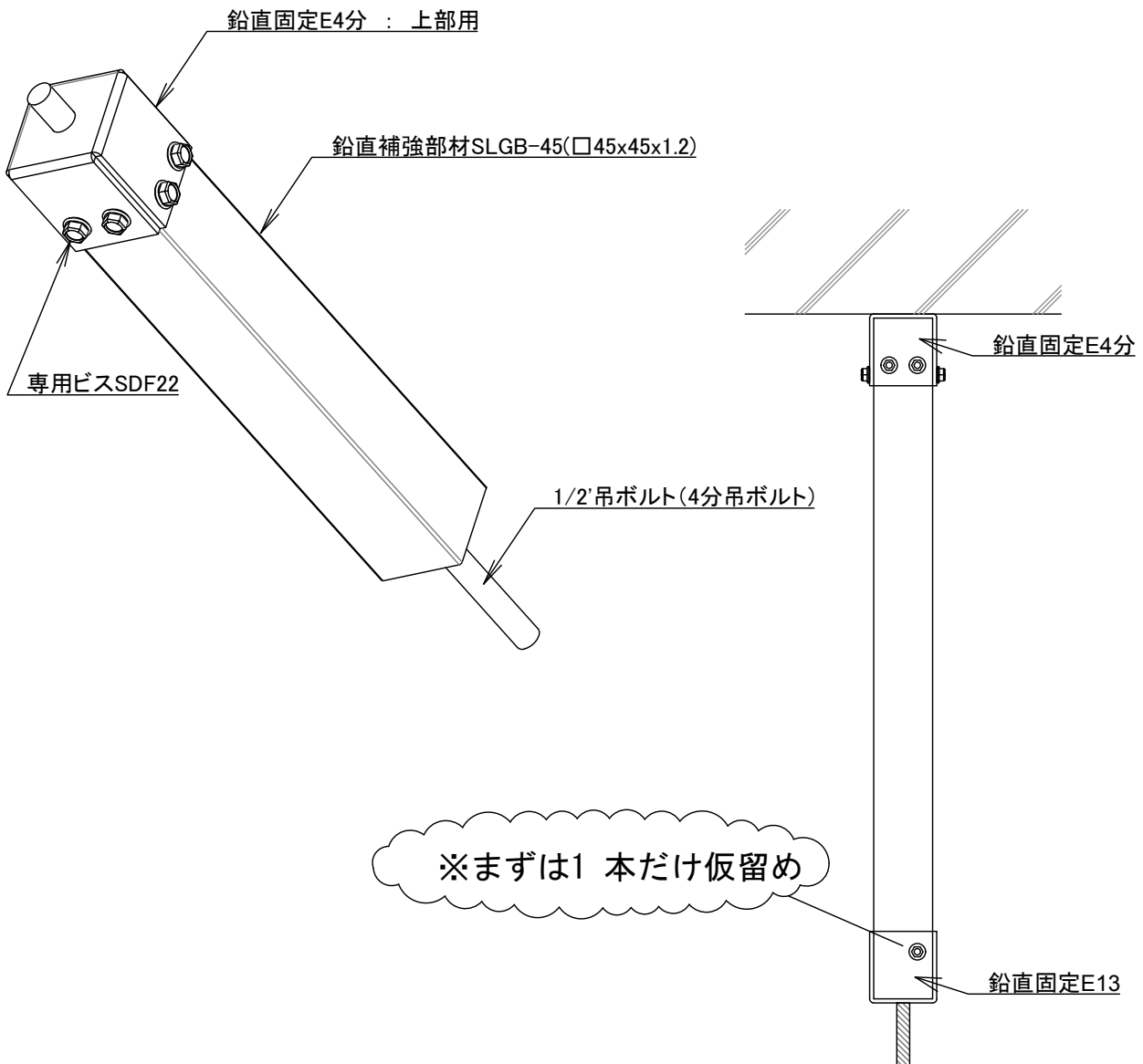


耐震スマート天井
標準施工要領書

耐震スマート天井 標準施工要領書

X、Y方向の鉛直補強部材の取付け

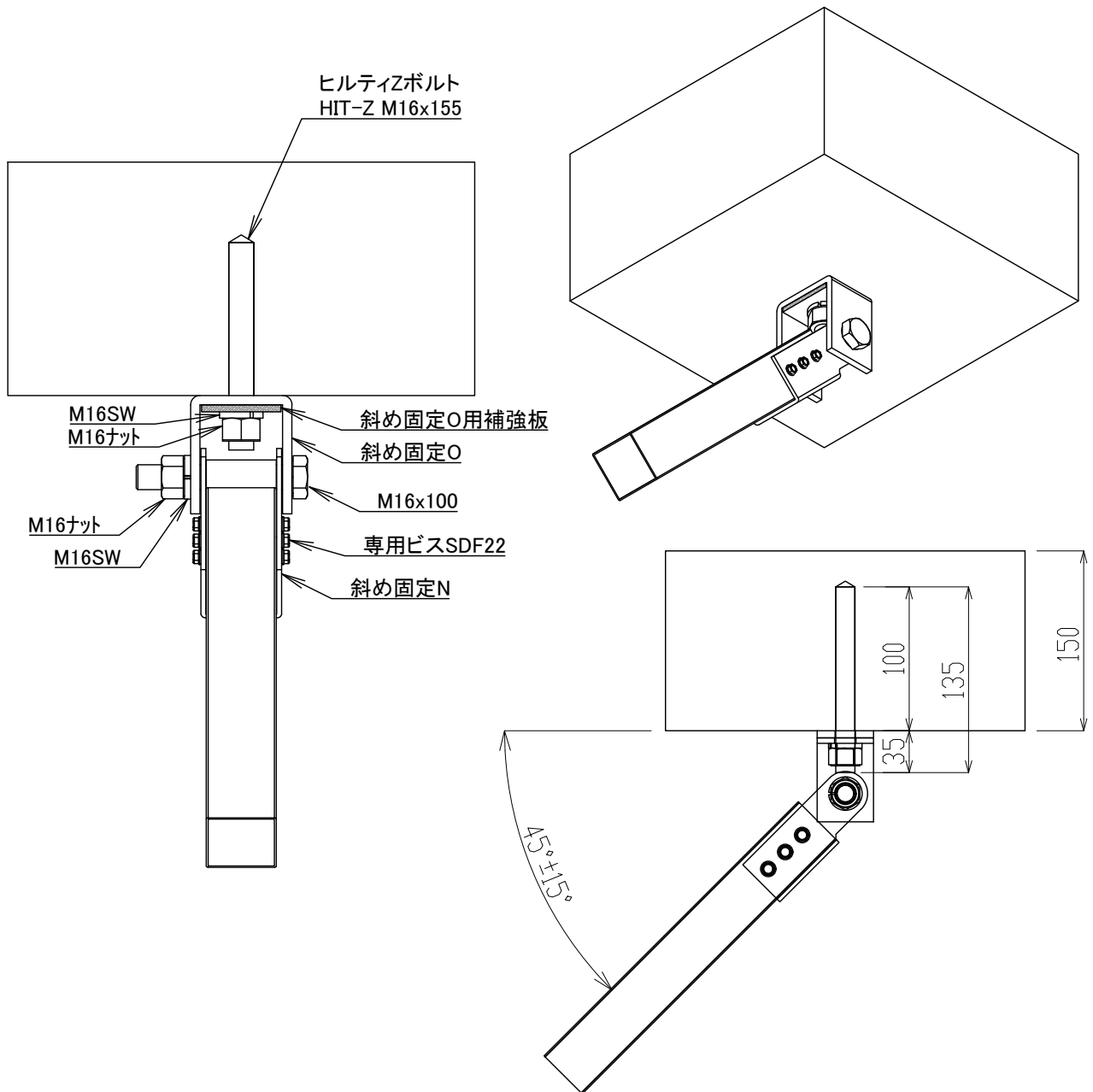
- ① 1/2'吊ボルトに鉛直固定E4分(ネジきり穴が空いているほうです)を取め付け、X、Y方向用の鉛直補強部材SLGB-45(□45x45x1.2)を差込み、SDF22(8本)で留める。鉛直補強部材SLGB-45の下側には鉛直固定E13(Φ13穴が空いています)を差込み、ビスを1本だけ仮留めします。
- ② 組み立てた鉛直補強部材をデッキプレートに留め付ける。この時、鉛直固定E4分(上部用)とデッキプレートの間は隙間ができないように留め付けてください。
- ③ レーザー水準器でレベル出しをして、鉛直補強部材に切断のマーキングをする。
- ④ 鉛直固定E13(下部用)を外してハンドタイプチップソーで鉛直補強部材をカットする。(ベビーサンダーの砥石をチップソー替える。)
- ⑤ 鉛直固定E13(下部用)を隙間がないようにはめて8本ビス留めする。



耐震スマート天井 標準施工要領書

X、Y方向の斜め補強材取付金具の取付け

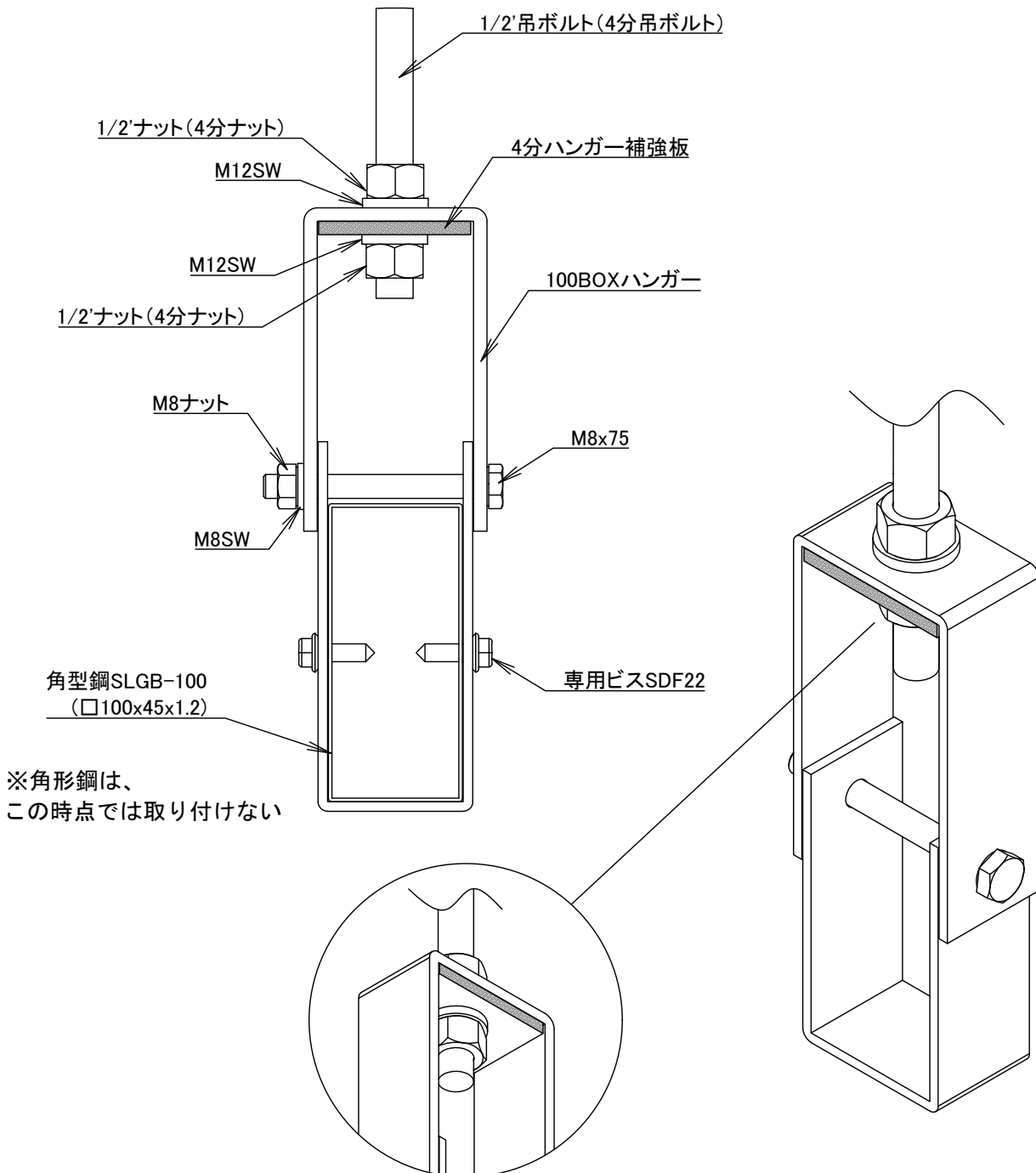
- ①斜め固定O用補強板を斜め固定Oの内側にセットし、ブレース材を取り付けるインサートボルト(HIT-Z M16x155)に差し込み、M16SW+M16ナットで締め付けます。
- ②斜め固定Nにブレース材SLGB-45(□45x45x1.2)を専用ビスSDF22(6本)で留め付けます。(ブレース材SLGB-45は、図面寸法より長めに製造しております。)
- ③斜め固定N+ブレース材SLGB-45を、斜め固定Oの穴にセットし、M16x100+M16SW+M16ナットで約45度(±15度)に固定します。(磁石付の45度を測る水準器で角度を測ることをお勧めします。)



耐震スマート天井 標準施工要領書

X方向水平材用の吊ボルトの取付け

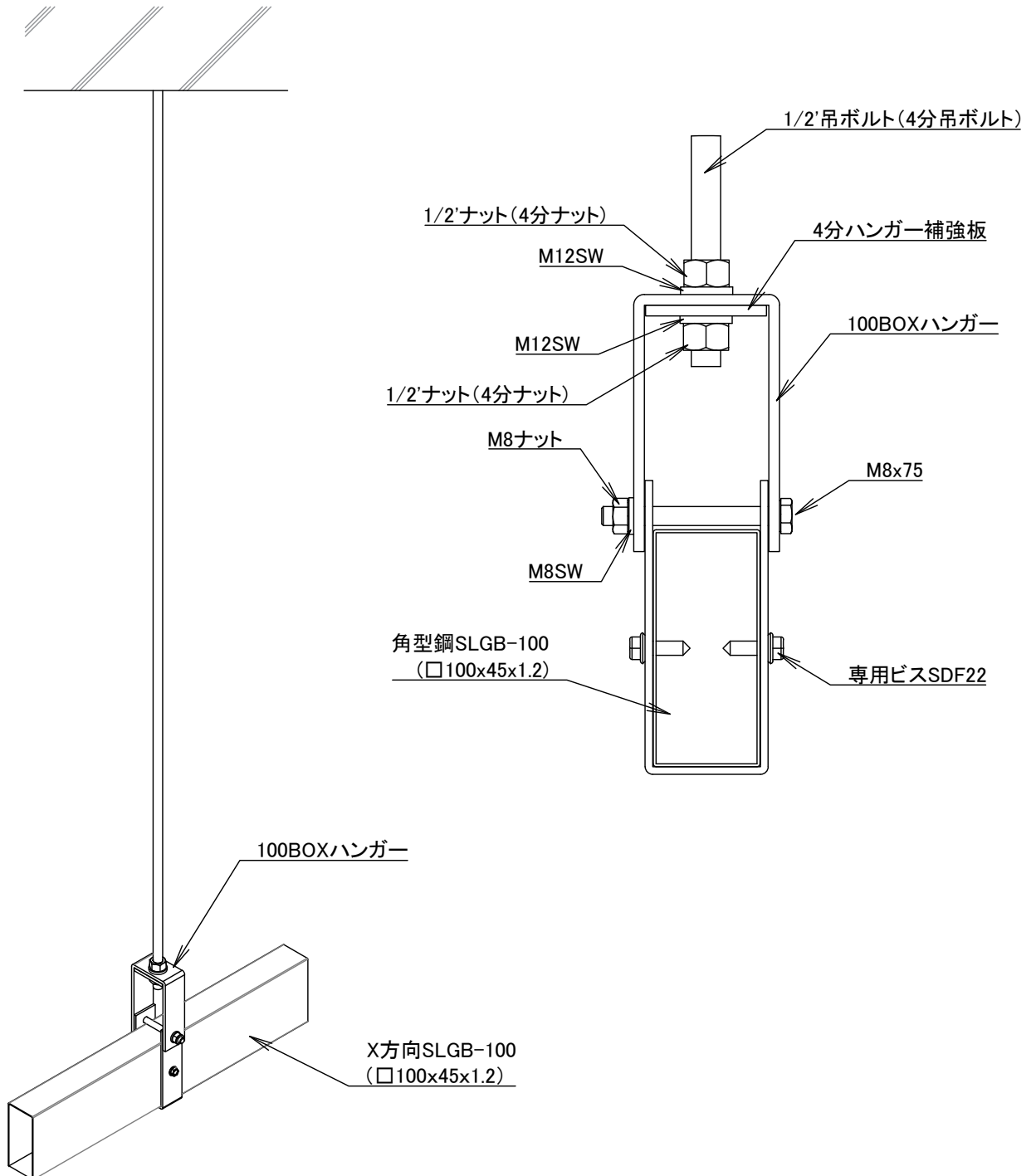
100BOXハンガー上下の部品は、M8x75、M8ナット、M8SWで仮締めします。
上部穴より、吊ボルトを通し、4分ハンガー補強板を間に挟み1/2'ナットとM12SWで締め付ける。
1/2'吊ボルトに100BOXハンガーを取り付け、アンカーに吊ボルトを取り付ける。
(※後に、X方向角形鋼SLGB-100(□100x45x1.2)を吊る為、この段階で長さ調整をしてください。)
X方向角形鋼SLGB-100の吊ピッチは、1800x3000です。変更している箇所もあるので、
割付図を確認してください。



耐震スマート天井 標準施工要領書

X方向水平材の取付け

先に吊っておいた100BOXハンガーにX方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)を通す。
(100BOXハンガーの中に、4分ハンガー補強板を取り付け忘れがないか
再度確認してください。)
ビス留めはせずに、BOXハンガーのM8x75を仮締めする。

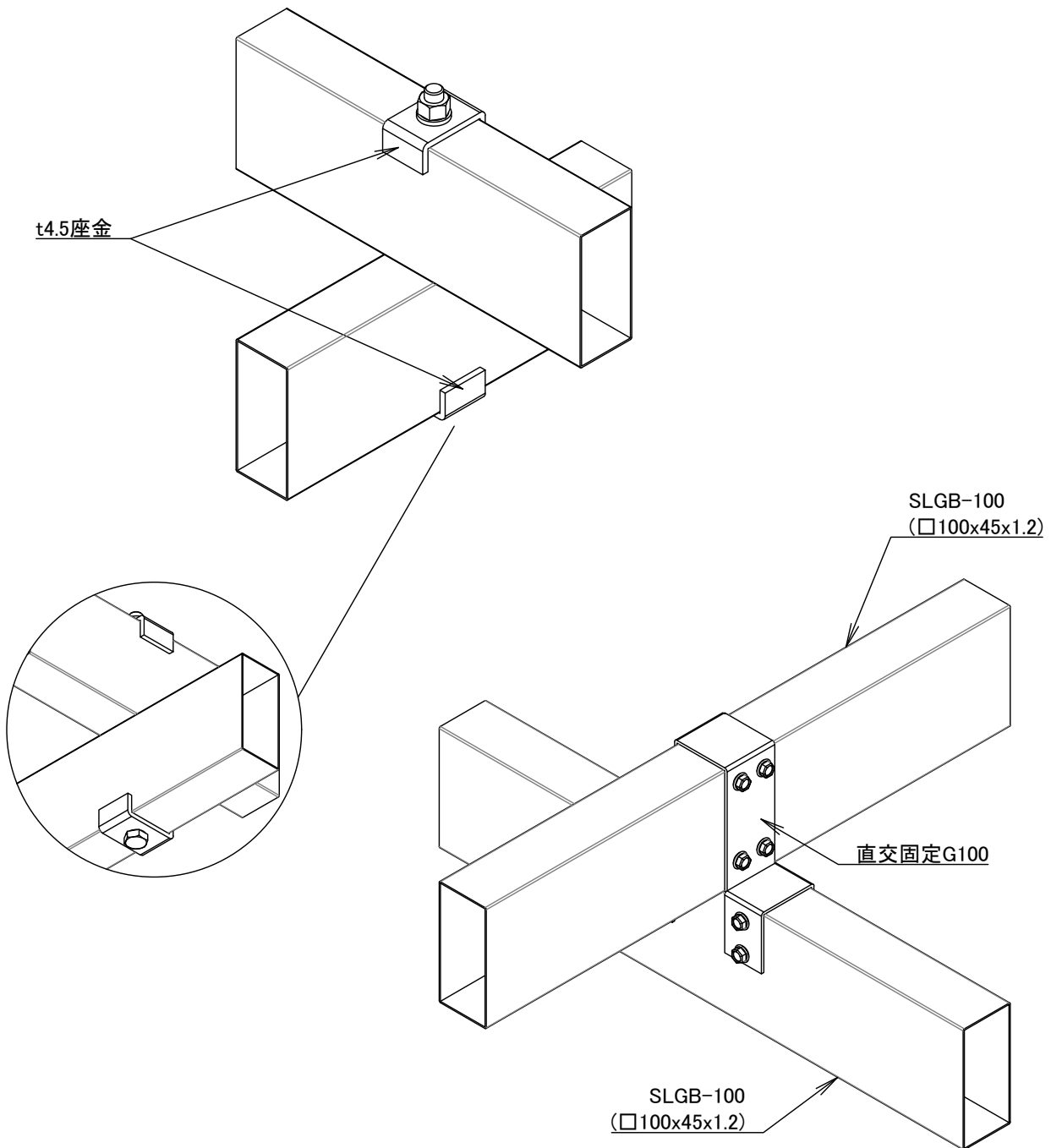


耐震スマート天井 標準施工要領書

Y方向水平材の取付け

X方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)の上に、Y方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)を置き、X、Y水平材それぞれのルーズ穴位置を合わせ、t4.5座金で上下を挟み込み、M12x230を下側より差込み、上側をM12ナット・M12SWで締め付ける。

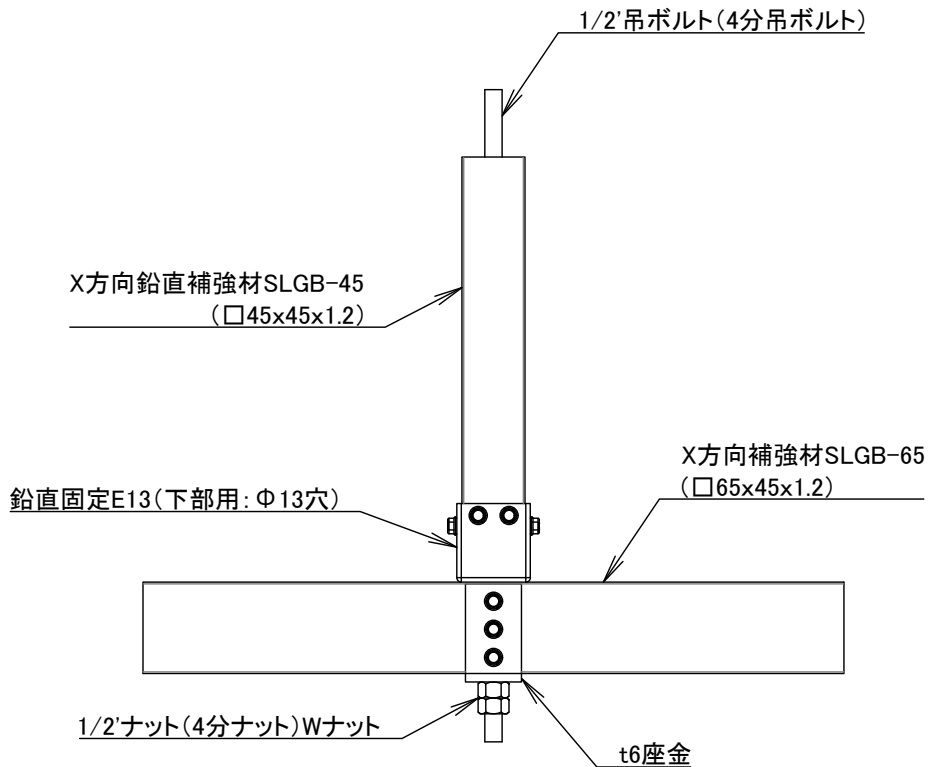
(※一部区画では、水平材にルーズ穴加工がされてない箇所があります。ドリルで穴加工を施してください。柱まわり、壁面に接する部分は直交固定G100で留め付けます。割付図を確認してください。)



耐震スマート天井 標準施工要領書

X方向補強部材の取付け

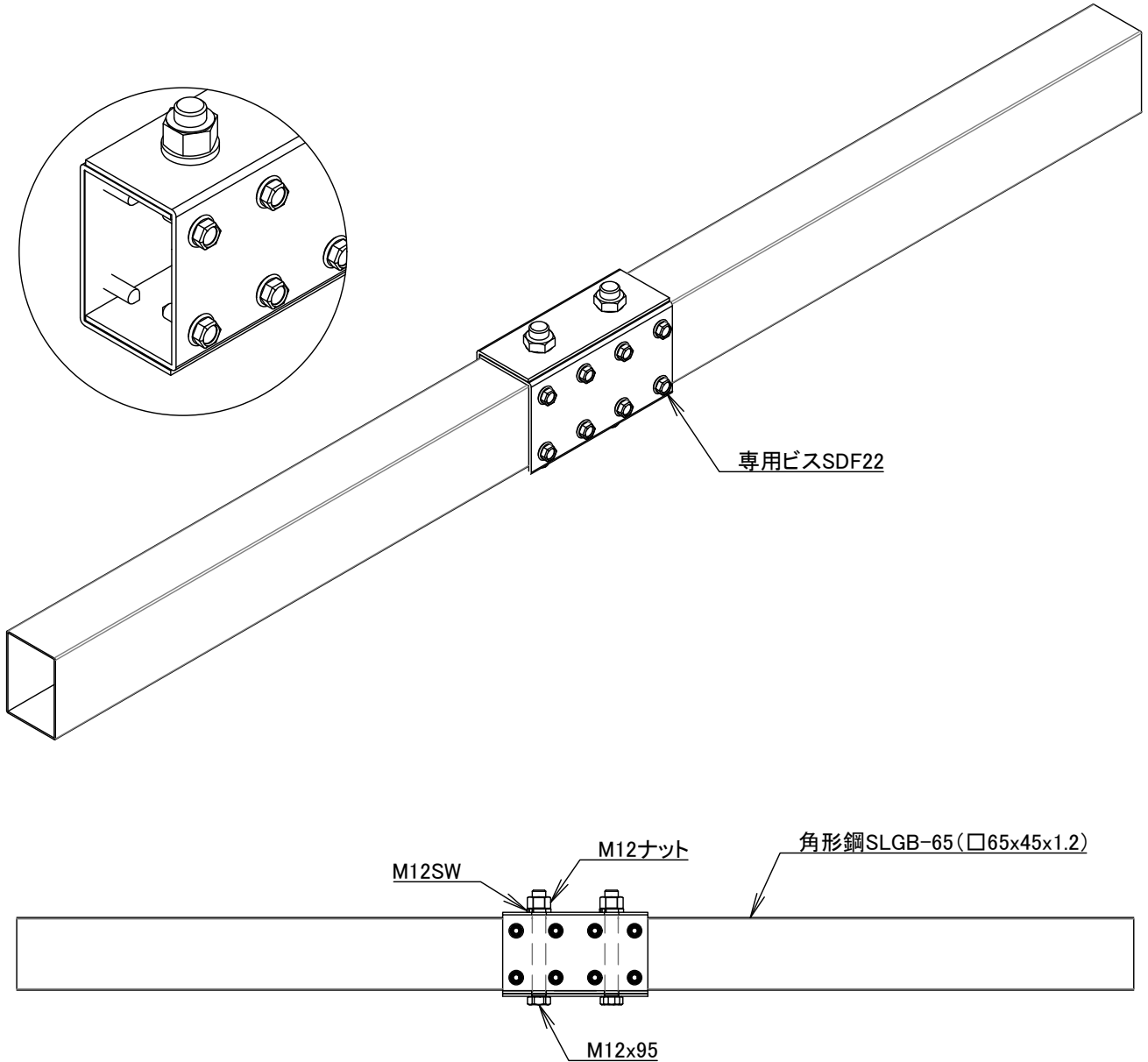
X方向鉛直補強部材の下に、SLGB-65(□65x45x1.2)を留め付ける。
鉛直補強部材の交差する位置には、X方向補強部材にルーズ穴加工はありません。
鉛直補強部材と交差する位置にドリルで貫通穴を設けてください。(直径14mm穴)
X方向補強部材SLGB-65を鉛直補強部材に差込み、下に出た1/2'吊ボルトに、
t6座金をかぶせ、1/2'ナット(Wナット)で締め付ける。
X方向補強部材SLGB-65の位置調整が終わったら、t6座金をHJC19(6本)でビス留めしてください。



耐震スマート天井 標準施工要領書

X方向補強部材ジョイント部の取付け

X方向補強部材SLGB-65(□65x45x1.2)のジョイントは、65ジョイント(2枚セット)を重ね合わせ、X方向補強部材SLGB-65のルーズ穴に位置を合わせ、上部からM12x95を差込み、下部をM12ナット・M12SWで締め付ける。
X方向補強部材SLGB-65の位置調整が終わったらSDF22ビス(16本)で留め付ける。



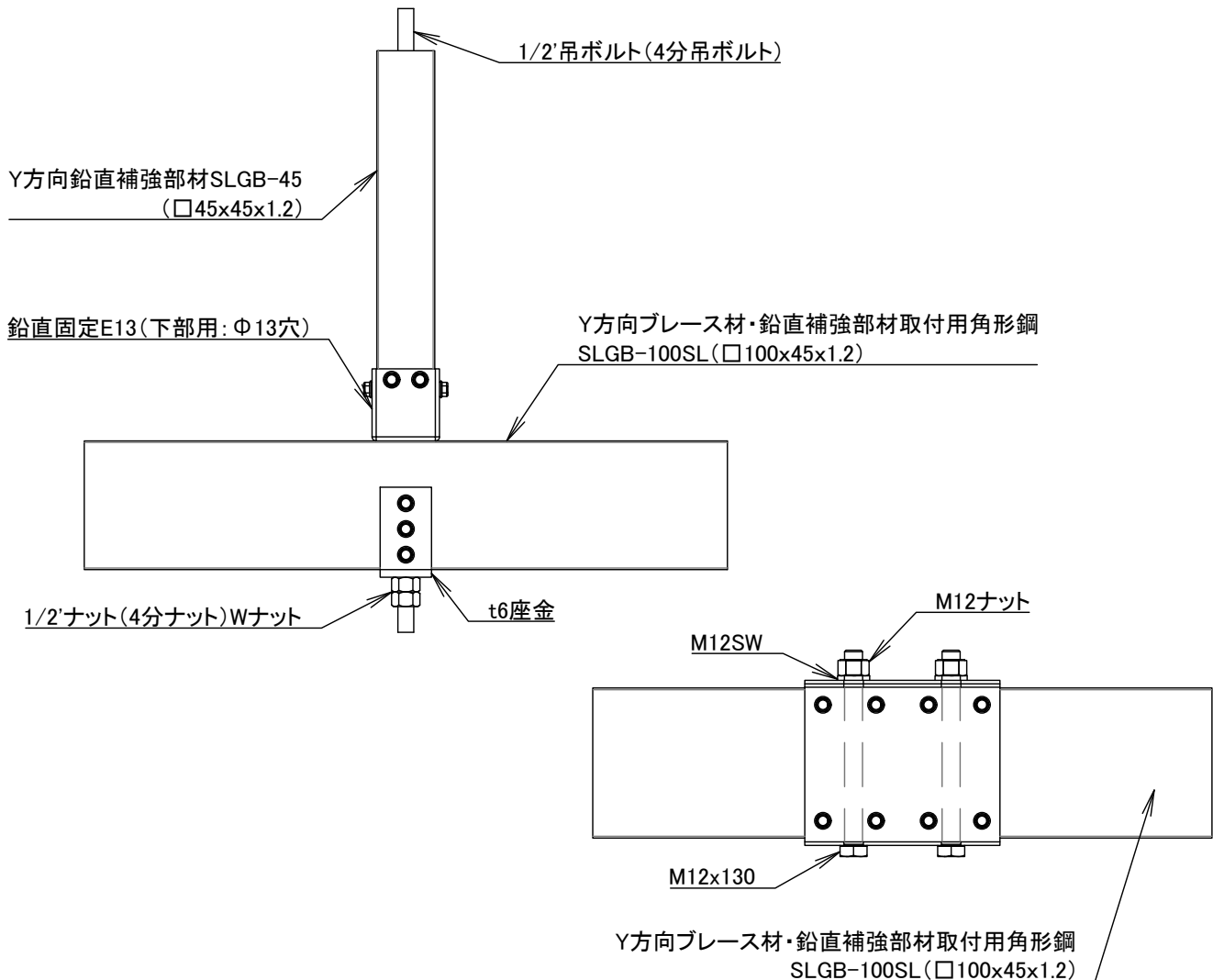
耐震スマート天井 標準施工要領書

Y方向補強部材の取付け

Y方向鉛直材の下に、Y方向補強部材SLGB-100(□100x45x1.2)を留め付ける。
鉛直部材の交差する位置に、Y方向補強部材にルーズ穴加工はありません。
鉛直補強部材と交差する位置にドリルで貫通穴を設けてください。(直径14mm穴)
(※直交するX方向補強部材SLGB-65(□65x45x1.2)の下側に、
Y方向補強部材がくるようにしてください。)
X方向補強部材SLGB-100を鉛直補強部材に差込み、下に出た1/2'吊ボルトにt6座金をかぶせ、
1/2'ナット(Wナット)で締め付ける。
Y方向補強部材SLGB-100の位置調整が終わったら、t6座金をHJC19(6本)でビス留めしてください。

Y方向補強部材ジョイント部の取付け

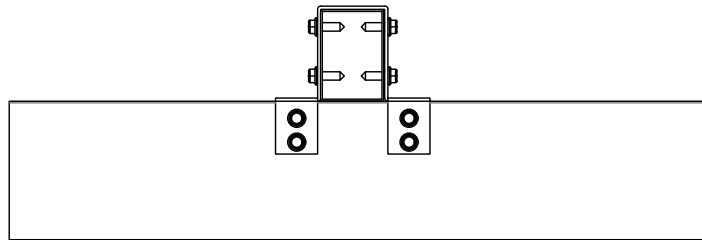
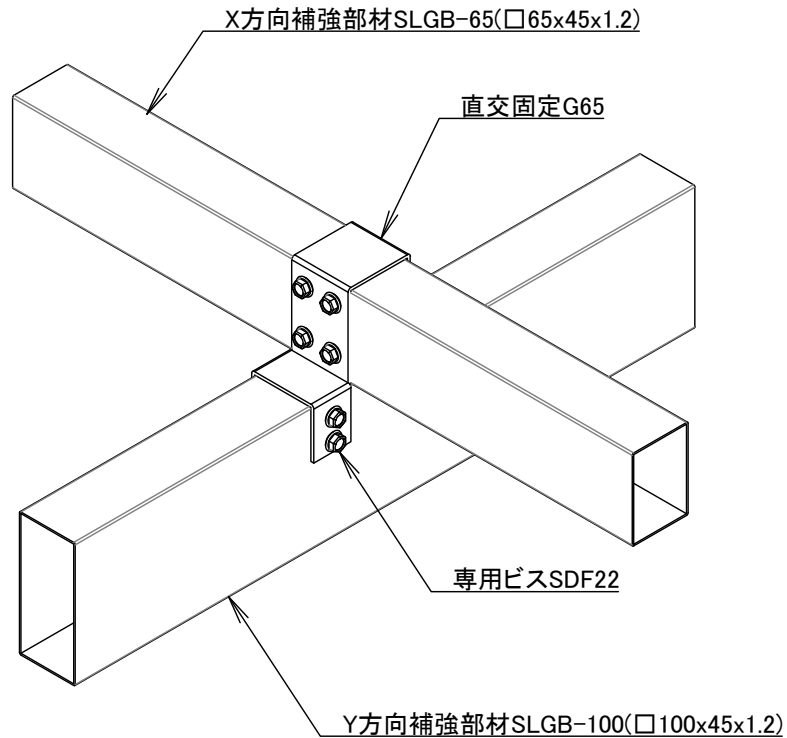
Y方向補強部材SLGB-100(□100x45x1.2)のジョイントは、100ジョイント(2枚セット)を
重ね合わせ、Y方向補強部材SLGB-100のルーズ穴に位置を合わせ、
上部からM12x130を差込み、下部をM12ナット・M12SWで締め付ける。
Y方向補強部材SLGB-100の位置調整が終わったらSDF22ビス(16本)で留め付ける。



耐震スマート天井 標準施工要領書

X方向補強部材とY方向補強部材の留付け

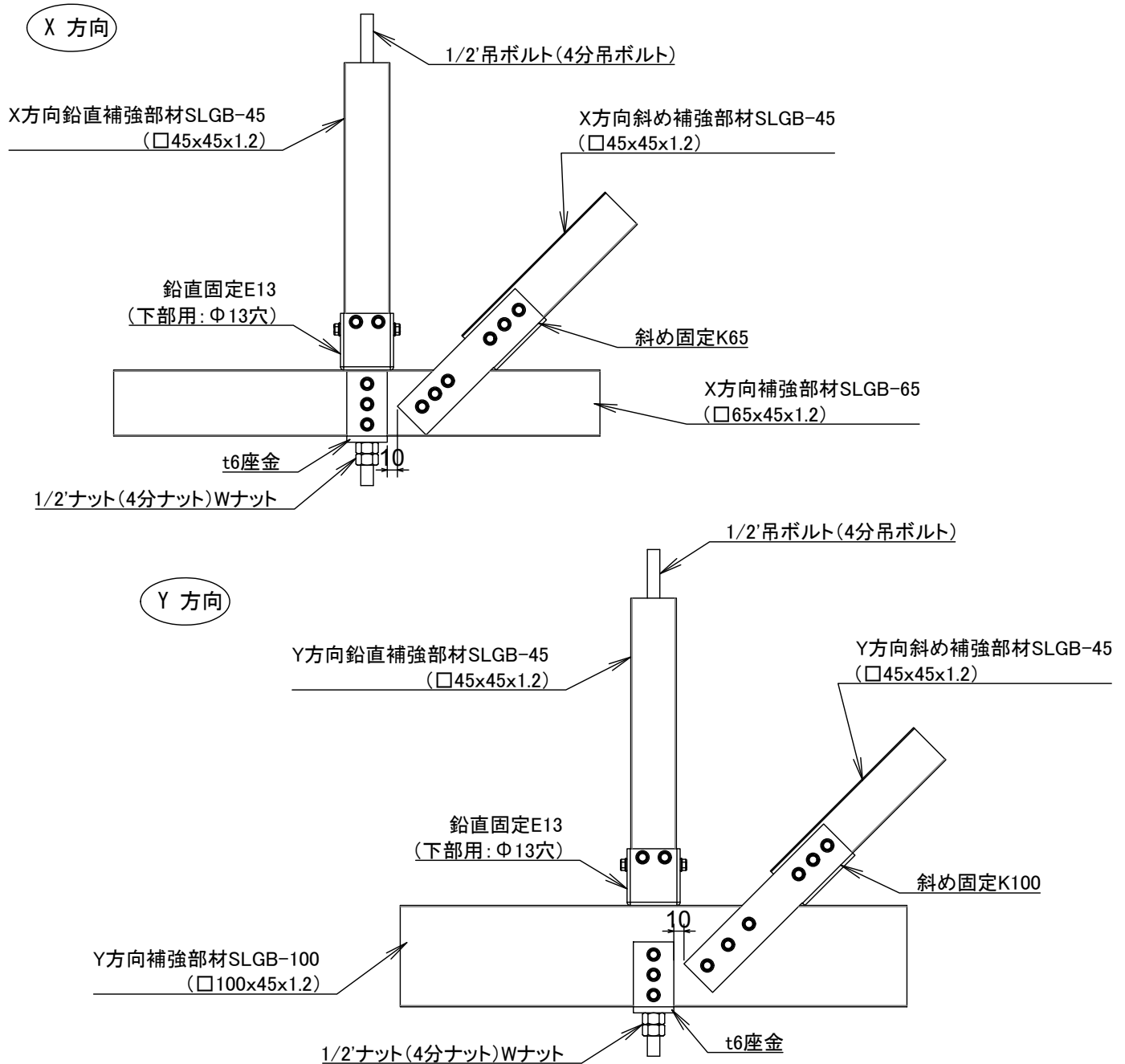
X方向補強材SLGB-65(□65x45x1.2)と、Y方向補強材SLGB-100(□100x45x1.2)が交差する部分に、SLGB-65用直交固定金具Gをかぶせ、補強材同士に隙間ができないようにHJCビス(16本)でビス留めする。



耐震スマート天井 標準施工要領書

X方向斜め補強部材を、X方向補強部材に取付ける

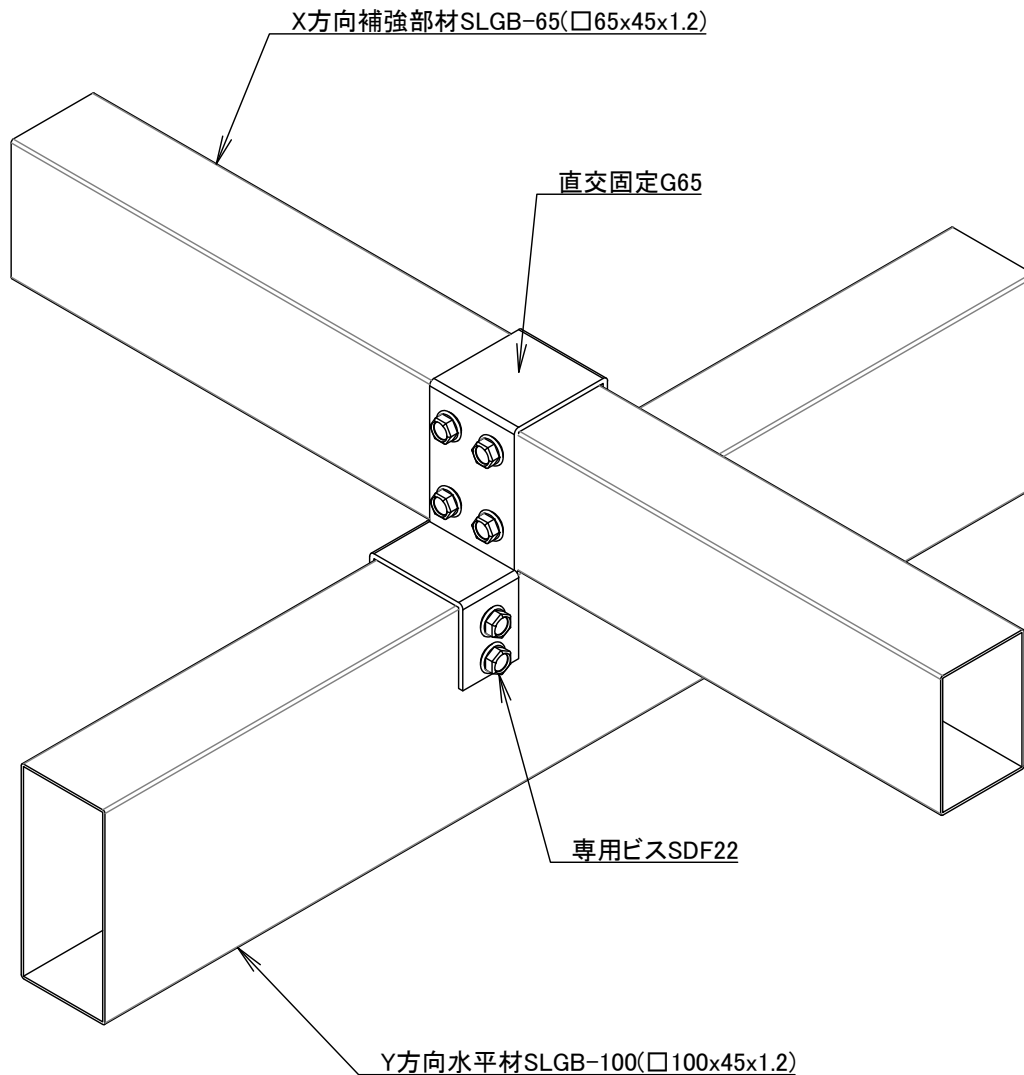
先につけておいたX方向斜め補強部材SLGB-45(□45x45x1.2)の下側に、斜め補強部材SLGB-45(□45x45x1.2)が角度45度になるようにカットして、斜め固定K65をSDF22でビス留めし、X方向補強材SLGB-65(□65x45x1.2)と斜め固定K65もビス留めする。
斜め固定K65(K100)の先端と、t6座金のクリアランスは10mm程度にしてください。
(※Y方向斜め補強部材SLGB-45は、斜め固定K100を同じ要領で、Y方向補強部材SLGB-100(□100x45x1.2)にビス留めしてください。)



耐震スマート天井 標準施工要領書

Y方向水平材と、X方向補強部材の留付け

X方向補強部材SLGB-65(□65x45x1.2)の下に、Y方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)が交差します。その位置にX方向補強部材SLGB-65の上から直交固定G65をかぶせ、SDF22ビス(16本)で上下補強材に隙間ができないようビス留めしてください。



耐震スマート天井 標準施工要領書

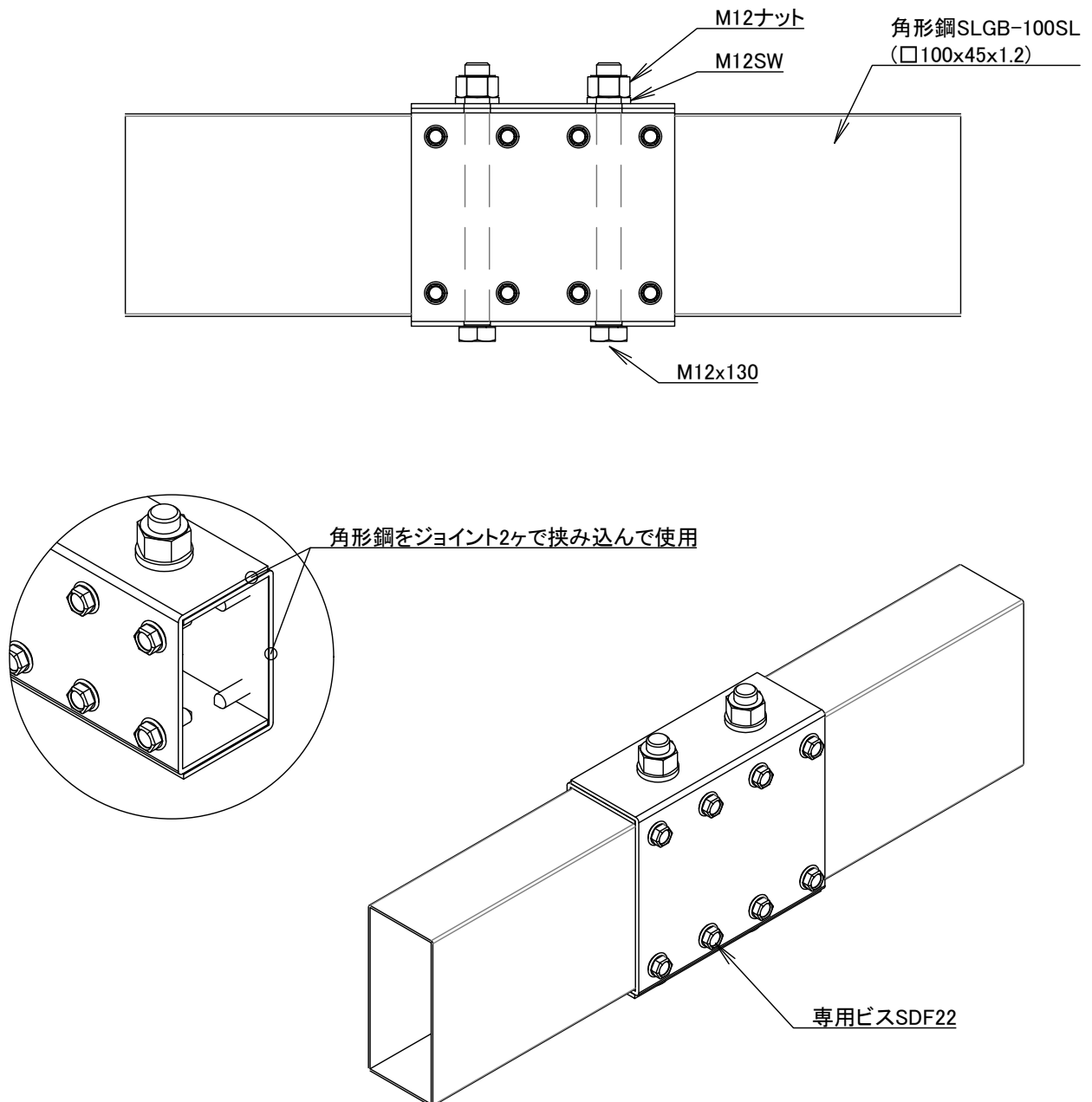
Y方向水平材ジョイント部の取付け

Y方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)同士を100ジョイント、M12x130、M12ナット、M12SWで締め付ける。

Y方向水平材の位置決めが完了した後、SDF22ビス(16本)でビス留めする。

X方向水平材とBOXハンガーの留付け

M8x75で仮締めしておいたBOXハンガーと、X方向水平材SLGB-100をSDF22ビス(2本)でビス留めする。



耐震スマート天井 標準施工要領書

I型100用3分と、3/8'吊ボルトの取付け

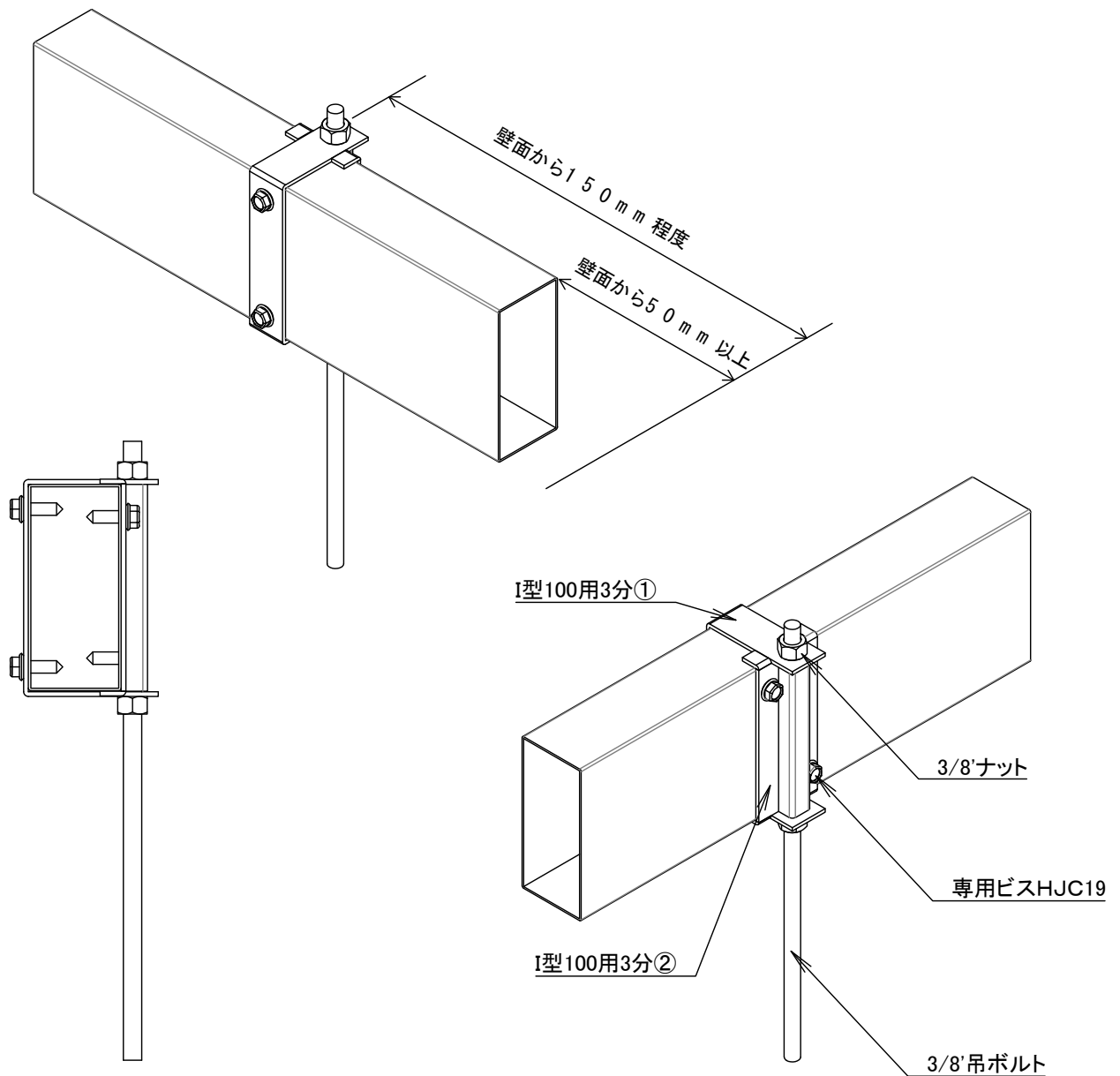
壁面から150mm離れた位置からI型100用3分を取り付ける。

I型は、I型100用3分①とI型100用3分②のセットです。I型100用3分①でY方向水平材を挟んだ後、もう一方をI型100用3分②に3/8'吊ボルトをはめ込んだ状態で挟みます。

吊ボルトが出ている上下を3/8'ナットで高さ調節をしながら締め付ける。

調節が完了した後、I型100用3分①とI型100用3分②をSDF22ビス(4本)でビス留めする。

なお、壁面とY方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)とX方向水平材SLGB-100(□100x45x1.2)とのクリアランスは50mm以上にしてください。設置間隔は900ピッチ以内でお願いします。



耐震スマート天井の施工は以上となります。最終検査が完了した後、次工程へ移ってください。

耐震スマート天井 標準施工要領書

H 鋼取付金具の取付け

H鋼幅に合わせた3/8'ボルト2本をH鋼吊金具に通し、
H鋼のフランジ両側に、H鋼吊金具(W=60 t=8)をはめ込み、
3/8'ボルト2本を3/8'ナット(Wナット)で締め付ける。
H鋼吊金具上部の穴から、M12x75、M12ナット、M12SWでフランジに締め付ける。
(※それぞれ隙間なく締め付けてください。)
H鋼吊金具の1/2'吊ボルトの穴に、1/2'L=500を通し、1/2'ナットで締め付ける。
吊ボルト下側には1/2'高ナットを取り付けて置いてください。

